
2020年1月期決算(連結) 説明会

株式会社東京ドーム

目次

はじめに	3	東京ドームシティのこれまでの整備基準	23
		その他の規制について	24
		まとめ	25
【2020年1月期 決算 実績】		【2020年1月期	
2020年1月期 概況	5	東京ドームグループ 企業の取り組みに関するトピックス】	
2020年1月期 決算(連結) 実績	6	「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」初年度実績および	
貸借対照表(連結)	7	今期の販売促進施策について	28
キャッシュ・フロー(連結)	8	子会社化および資本業務提携について	29
当社グループの事業セグメント	9	【新型コロナウイルス当社グループ対応および	
セグメント別売上高	10	営業への影響について】	
セグメント別営業利益	11	新型コロナウイルス感染拡大防止の対応	32
事業セグメント トピックス	12	新型コロナウイルス感染による営業への影響	33
2021年1月期連結業績予想および配当予想	13	新型コロナウイルス感染拡大防止体制および今後について	34
【2020年1月期 東京ドームシティ事業 トピックス】		【今後の取り組みについて】	
「Hi!EVERYVALLEY」初年度業績に関して	15	中期経営計画「新機軸」最終年度にあたり	36
「東京ドーム グルメストリート」初年度実績	16	今後の取り組みについて	37
東京ドーム4F飲食売店 リニューアル	17		
東京ドーム スタジアム環境整備に関する取り組み	18		
【都市計画公園について】			
都市計画公園区域の指定について	21		
東京都が定める特許事業取扱方針の主な要件	22	※参考資料	41

※資料内、表における増減比較は、1円単位で計算しているため、表の数字の増減と合わないことがあります。

はじめに

(株)東京ドーム 代表取締役社長 執行役員
長岡 勤

・ 2020年1月期 総括

中期経営計画「新機軸」の4年目にあたる2020年1月期は、堅調に推移。

2019年3月にオープンした「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」も下期以降は順調に稼働。
その他、中期経営計画期間中に新設した施設含め、営業体制の基盤構築を進めた。

・ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う当社グループへの影響および対策

各施設における営業休止や、イベントの中止・延期など、当社グループへの影響は大きい
が感染拡大防止、お客様の安全を第一に考え、営業休止せざるを得ない判断をしている。

お客様に安心してご利用いただける施設・サービスの提供を続けるために、施設・従業員に
対し、最大限の安全対策を実施している。

2020年1月期 決算 実績

(株)東京ドーム 常務取締役 執行役員
小田切 吉隆

2020年1月期 概況

○収支について

- ・ 2019年8月29日の修正予想に対して
東京ドームにおける野球関連イベント開催日数の増加などにより売上は
上回ったものの、補修整備費や業務委託費等の増により営業利益は下回る。

(単位：百万円)	20.1期	2019.8.29 修正予想	増減
売上高	91,557	90,200	1,357
営業利益	11,728	12,200	-472
経常利益	10,669	11,100	-431
純利益	8,002	7,100	902

○設備投資について

- ・ 東京ドームリニューアル工事などによる投資

○有利子負債残高について

- ・ 中期経営計画目標額を達成。

2020年1月期 決算(連結) 実績

(単位:百万円)

	20.1期	19.1期	増減	要因(19.1期比)
売上高	91,557	87,048	4,508	<p><増収要因></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京ドーム野球関連イベント開催日数増加及び飲食店舗好調 ・「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」開業 <p><利益への影響要因></p> <p>【営業利益】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京ドームシティ事業の好調による増益 <p>【税前利益】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定資産売却益(5億円強の増)、補助金収入(3.5億円弱の増)
営業利益	11,728	11,481	247	
経常利益	10,669	10,402	266	
税金等調整前 当期純利益	11,365	10,173	1,191	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	8,002	6,962	1,039	
減価償却費	7,594	6,902	692	東京ドームリニューアル、アトラクションズ新機種導入、「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」開業 など
設備投資額	6,747	17,176	△10,429	東京ドームリニューアル、黄色いビル更新工事、ラクーア省エネ工事、「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」残工事 など
有利子負債額	133,119	134,378	△1,258	中期経営計画「新機軸」有利子負債残高目標額1,390億円を達成

貸借対照表(連結)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(単位:百万円)

資産	20.1期末	19.1 期末比	負債純資産	20.1期末	19.1 期末比
流動資産	25,758	7,699	流動負債	59,302	△2,507
固定資産	276,832	△2,273	固定負債	136,494	1,294
有形固定資産	242,832	△2,727	負債合計	195,797	△1,212
無形固定資産	1,305	△47	株主資本	43,538	6,527
投資その他の資産	32,694	501	その他の包括 利益累計額	65,015	△45
繰延資産	1,759	△155	土地再評価差額金	55,112	△173
			純資産合計	108,553	6,482
資産合計	304,350	5,270	負債純資産合計	304,350	5,270

キャッシュ・フロー(連結)

(単位:百万円)

	20.1期	19.1期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,827	16,845	2,982
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,085	△11,311	3,225
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,547	△12,563	8,015
現金及び現金同等物の増減額	7,194	△7,029	14,223
現金及び現金同等物の期首残高	10,566	17,595	△7,029
現金及び現金同等物の期末残高	17,761	10,566	7,194

当社グループの事業セグメント

東京ドームシティ事業

東京ドーム
LaQua
黄色いビル

東京ドームシティ アトラクションズ
MEETS PORT
東京ドームホテル 他

流通事業

shop in 他

不動産事業

アドホック新宿、プチモールニツ木
代々木イースト 他

熱海事業

ATAMI BAY RESORT KORAKUEN

競輪事業

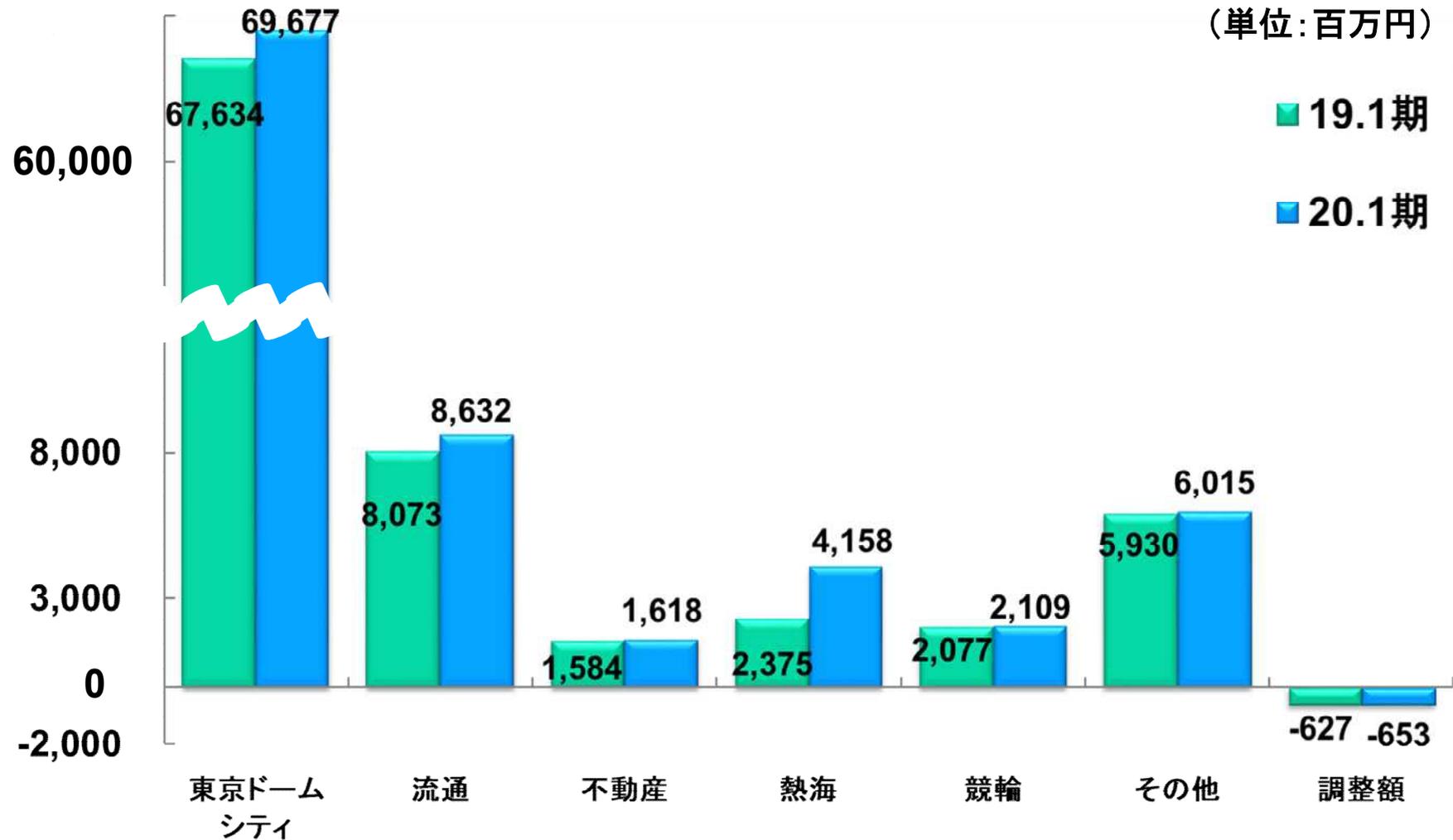
松戸競輪場 他

その他

スポーツ施設運営事業、
生命・損害・医療保険代理店事業、
有価証券の保有・管理事業 他

セグメント別売上高

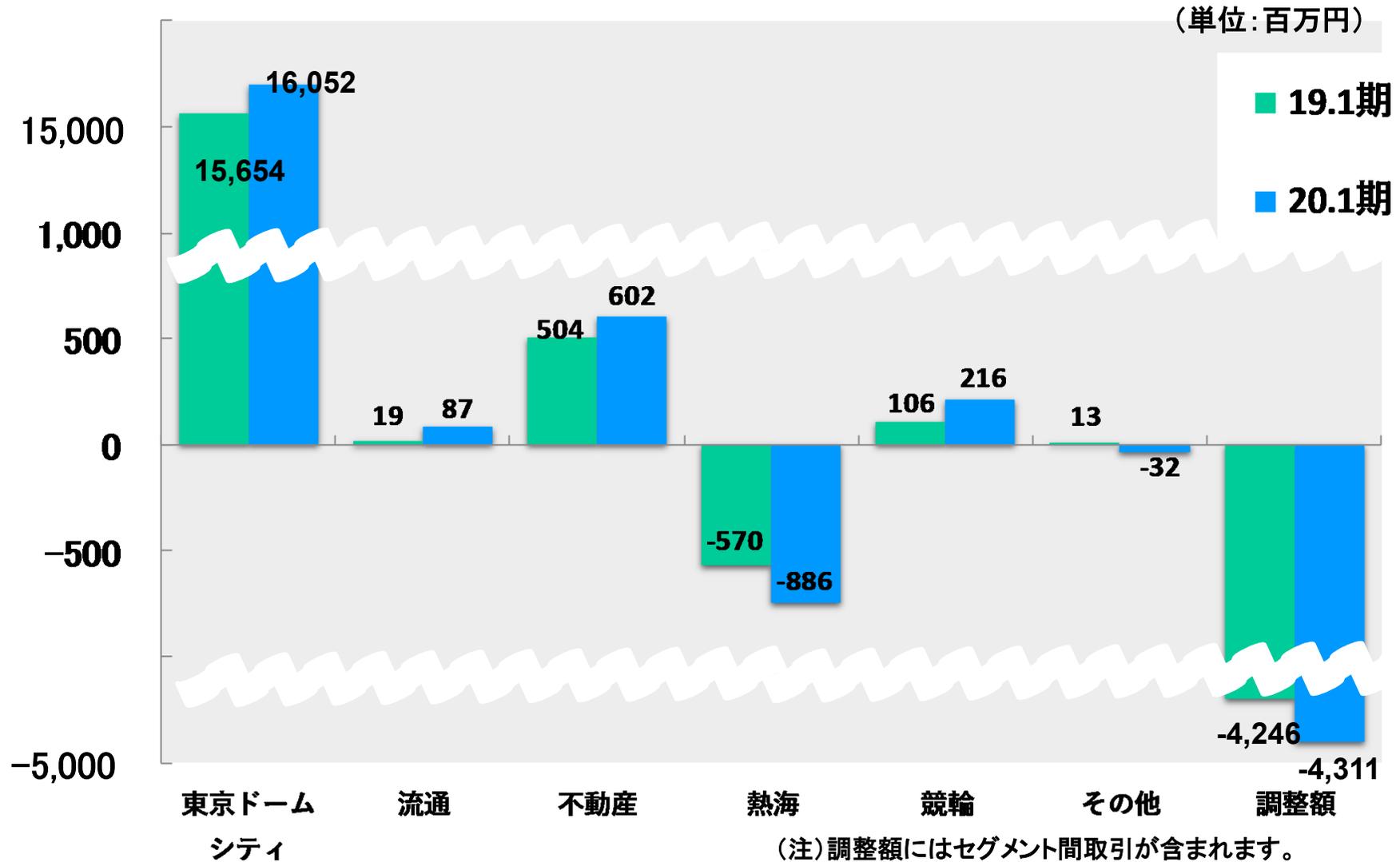
※当連結会計年度から業績管理区分の見直しにより、従来「東京ドームシティ」事業に含まれていた事業の一部を「その他」に移管しております。前連結会計年度のセグメント情報は、上記セグメント変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。



(注)調整額にはセグメント間取引が含まれます。

セグメント別営業利益

※当連結会計年度から業績管理区分の見直しにより、従来「東京ドームシティ」事業に含まれていた事業の一部を「その他」に移管しております。前連結会計年度のセグメント情報は、上記セグメント変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。



事業セグメント トピックス

○東京ドームシティ事業

- ・東京ドームでの野球関連イベントの開催日数増加と飲食店舗の好調による増収
- ・東京ドームホテルにおける客室単価の上昇などによる増収
- ・「ファーストキャビン 東京ドームシティ」「Hi!EVERYVALLEY」の開業による増収

○流通事業

- ・既存店の好調および新店舗の開業により増収増益

○不動産事業

- ・堅調なテナント稼働および管理費用の減少により増収増益

○熱海事業

- ・「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」の開業により増収となったが、開業費用の増加により減益

○競輪事業

- ・松戸競輪場は日本選手権（G I）などの本場開催の好調により増収

○その他

- ・指定管理事業において、受託施設の増加はあったものの、業務委託費などの増加により減益

2021年1月期連結業績予想および配当予想

- ・ 2021年1月期連結業績予想

新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

- ・ 2021年1月期配当予想

安定配当12円のみを見込んでおり、業績連動配当は未定としております。なお、業績予想の開示が可能となった段階で、業績連動配当を含めた配当総額を速やかに公表いたします。

2020年1月期
東京ドームシティ事業 トピックス

(株)東京ドーム 専務取締役 執行役員
萩原 実

「Hi!EVERYVALLEY」初年度業績に関して

「Hi!EVERYVALLEY」は、2019年3月15日に黄色いビル1Fにオープンしたフード&コミュニティ空間。エリアには多種多様な6つの飲食店舗があり、野球やコンサートに行かれる前に立ち寄るお客様や、ランチタイムに利用される方など、多くの方にご利用いただいている。

初年度の売上実績は、6店舗合計で予算額を上回り、堅調に推移した。



「東京ドーム グルメストリート」初年度実績

2019年3月17日に東京ドーム内1Fコンコースにオープンした「東京ドーム グルメストリート」の初年度売上実績は、前年度実績を大きく上回る結果となった。また、それ以外のフロア（2F、4F）や外野エリアの売上も前年度を上回り、各フロアの客数も増加していることから、東京ドーム内の飲食売店を利用される新規顧客を獲得している。



東京ドーム4F飲食売店 リニューアル

今期の取り組みとして、東京ドームでは「東京ドーム グルメストリート」に続き、4Fコンコースの飲食売店をリニューアル。（オープン日は流動的）

新たに2店舗を加え、備え付けられたモニターでスポーツバルしながら試合を観戦し、東京ドームの外の景色を眺めながら落ち着いて食事を楽しめるイートインエリア『東京ドーム タベルバ!』をオープン。最大80名が楽しめるイートインエリアの設置は東京ドームでは初めて。



東京ドーム スタジアム環境整備に関する取り組み

東京ドームは2019年7月から2020年3月にかけて、スタジアムビジネスにおける新たなニーズへの対応としてリニューアル工事を実施。

実施内容は以下の3つ。

①高密度Wi-Fiの設置

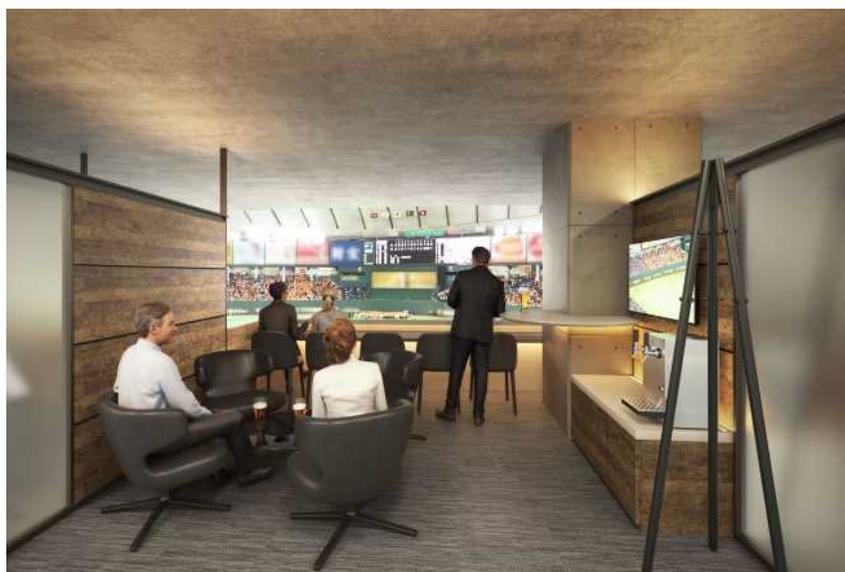
「スタジアム・ソリューションの導入」・「ファンサービスの一層の拡充」を図り、今後、スタジアムを訪れた多くのお客様に様々な体験を提供し、ライブエンタテインメントの魅力を引き上げることで、スタジアムの価値を更に高め、集客力と収益力の向上を目指す。

②車椅子席の増席

従来12席だった車椅子席を22席に増設。席幅も広げ、観戦および観覧環境の改善に努めている。

③プライベートルーム新設

リラックスして野球観戦を楽しめる、壁で仕切られた半個室のプライベートルームを内野席最後部に新設。



※掲載CGは計画段階のものであり、施工上等の理由により変更となる場合があります

※提供：竹中工務店

都市計画公園について

(株)東京ドーム 専務取締役 執行役員
西勝 昭

都市計画公園区域の指定について

東京ドームシティの大部分...東京都より都市計画公園区域に指定



建築物の新築、増築、用途変更などの新しい事業を計画する場合、
都市計画法に基づく特許事業等による整備が求められるため、
都知事の認可を得て、施設の種類、建築面積、緑化面積の確保などの
同法に付随する方針や基準に従わなければならない

東京都が定める特許事業取扱方針の主要要件

- ①事業地の建蔽率：事業面積の20%以内
- ②緑化基準：事業面積の50%以上
- ③整備できる施設の用途は、修景施設、**スポーツ施設**、レクリエーション施設、教養文化施設、休養施設、**集会施設**、**宿泊施設**、**遊戯施設**、または、これらの施設の利用若しくは機能の維持に必要な便益施設、管理施設

東京ドームシティのこれまでの整備基準

- 当社敷地の都市計画公園への指定...1957(昭和32)年
- 東京ドーム（1984(昭和59)年計画発表・1988(昭和63)年竣工）の建設...
整備手法として都市計画法に基づく特許事業が選択される
現行の取扱方針及び整備基準(1996(平成8)年策定)においては適用外
- 東京ドームホテル(2000(平成12)年)、ミーツポート(2008(平成20)年)の計画...
都市計画法に基づく特許事業により現行の取扱方針及び整備基準が適用

その他の規制について

弊社敷地に隣接する小石川後樂園も、都市計画後樂園公園
区域に指定景観法や文化財保護法の対象でもある



今後の開発においては

- 東京都景観条例
- 東京都景観計画
- 文京区景観計画

などによる規制も受けることになる

まとめ

都市計画公園の指定を受けてから60年以上に亘って、様々な事業を展開しながら、東京都の指導監督の下で公園の維持管理・機能向上にも努めてきたことが、現在の評価に繋がっている

まとめ

今後の東京ドームシティの再整備検討には
老朽化が問題となりつつある施設への対応が課題



ステークホルダーの皆様方のご期待に応えるべく、
更なる発展的な将来構想を描きたい

2020年1月期
東京ドームグループ
企業の取り組みに関するトピックス

(株)東京ドーム 常務取締役 執行役員
久岡 公一郎

「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」初年度実績および今期の販売促進施策について

■初年度実績

「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」の初年度売上は4,158百万円で、営業利益は△886百万円であった。

増収要因・・・「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」としてリニューアルオープンしたことによる増収

減益要因・・・開業準備費用や、上期の人手不足による稼働可能室数の不足 など

下期では、熱海市を中心とした近隣住民と観光客によるFuua利用者数を増やすべく、宿泊とスパのセット販売やバスツアーへの参画・販売などの販促施策を実施。さらにSNSなどによる認知拡散効果によりFuua利用者数を順調に伸ばしている。

人手不足に関しては、派遣などを活用し改善傾向に向かっている。また、外国人実習生の受け入れ体制も現在整備しており、今後採用していく予定である。

■今期の販売促進施策

- ・ 宿泊および日帰りバスツアーへの参画・販売
- ・ Fuua入館券付宿泊プランなど付加価値を高めたセットプラン販売
- ・ 近隣施設での販促活動強化
- ・ SNSを活用した認知度向上



⇒ 引き続き、安定した稼働・売上を目指していく。

子会社化および資本業務提携について

2020年1月期には、IT事業への多角化や人材確保を目的に株式会社ソフトレック（現：株式会社東京ドームITソリューションズ）を完全子会社化（非連結）した。

資本業務提携は以下の3社と実施。

① パーソナルエージェントホールディングス株式会社

HR（ヒューマン・リソース）テックサービスに関するシステムの共同開発および販売などを目的として実施

② 株式会社アドインテ

IoT 端末の「AI Beacon（エーアイビーコン）」を活用した行動分析技術と、大きな集客力を持つ当社事業が連携し、新たなマーケティングを展開することでの両社の事業価値向上などを目的として実施

③ Kotozna（コトツナ）株式会社

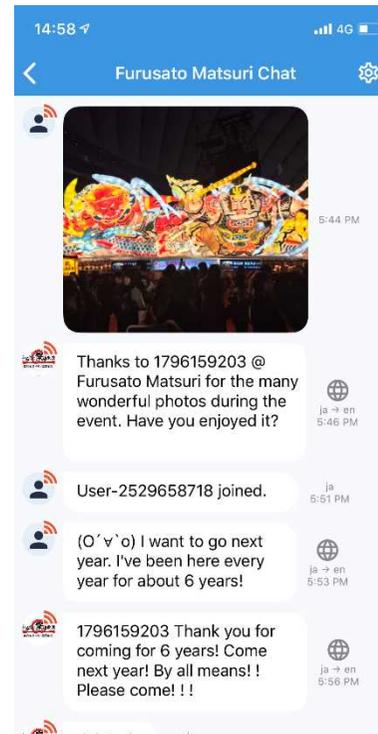
エンタテインメント体験における言葉の壁を超えた感動の共有を目指し、協業による新規事業を創出することを目指す。

■ Kotozna (コトツナ) 株式会社が開発した多言語翻訳ツール「Kotozna Chat (コトツナチャット)」の概要および導入実績

・ 概要

「Kotozna Chat (コトツナチャット)」とは

自身のスマートフォンを自動的に翻訳機にするアプリやブラウザのサービス。対象のQRコードを読み込むとチャット画面が立ち上がり、スマホの設定言語で自動翻訳された状態でのチャットが可能となる。104言語に対応し、音声でもテキストでもチャットが可能。



You can't post to this group.



・ 導入実績

2020年1月10日～19日「ふるさと祭り東京2020」(会場：東京ドーム)

新型コロナウイルス 当社グループ対応および 営業への影響について

(株)東京ドーム 代表取締役専務 執行役員
谷口 好幸

新型コロナウイルス感染拡大防止の対応

○従業員への対応

- ・ 毎日の検温実施と発熱がある場合の自宅待機、時差通勤の実施
- ・ お客様と対応する従業員はマスクを着用
- ・ 感染を疑われるお客様に対応する際のマニュアルとフローを感染拡大防止の観点から整え、従業員に周知

○施設への対応

- ・ 各施設に消毒液を設置
- ・ 施設内の換気機能を強化するとともに、始業前の消毒
- ・ 営業休止や、営業時間の短縮
- ・ 既存の救護室に加え、感染を疑われるお客様専用の独立した救護室を用意

○お客様へのお願い

- ・ 手洗い・うがいの励行および設置されている消毒液のご利用をお願い
- ・ 風邪の症状や37.5℃以上の発熱がある方、強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある方のご来場を控えていただくようお願い

新型コロナウイルス感染による営業への影響

○東京ドームシティ事業 ※2020年3月24日現在

■営業を休止している主な施設

- ・東京ドームシティ アトラクションズ ・アソボーノ ・ヒーローショー（Gロッソ）

■イベント等の中止、延期などにより利用を休止している施設

- ・東京ドーム
- ・TOKYO DOME CITY HALL ・プリズムホール
- ・Gallery AaMo・後楽園ホール
- ・ウインズ後楽園、オフト後楽園

■営業を継続しているものの時間短縮等を行っている施設

- ・東京ドームホテル
- ・スパ ラクーア
- ・構内の飲食及び物販施設

○その他セグメントについて

- ・流通事業の営業時間短縮や、競輪事業の無観客開催、運動施設等の休館など

新型コロナウイルス感染拡大防止体制および今後について

○体制について

- ・ 社長を本部長とし、常勤取締役を構成員とする災害対策本部を設置
- ・ 各事業所の営業休止あるいは再開など重大な意思決定が速やかにできる体制
- ・ 営業を継続している施設については、できる限りの感染拡大防止対策に努める

○今後について

- ・ 消毒液や従業員用マスク、非接触型の体温計等を準備し、これらを活用した感染拡大防止のためのオペレーションを用意
- ・ 新型コロナウイルスによる事業への影響を最小限に抑えるべく、できる限りの努力を引き続き行う。

今後の取り組みについて

(株)東京ドーム 代表取締役社長 執行役員
長岡 勤

中期経営計画「新機軸」最終年度にあたり

- 2021年1月期は中期経営計画「新機軸」の最終年度であり、計画目標達成に向けてグループ一丸となって取り組もうとした矢先に、新型コロナウイルス感染拡大という問題が発生。
- 業績への影響は精査中だが、経営計画の収益性目標「連結営業利益130億円」に対しては極めて厳しい状況、資本運用の効率性目標「連結ROA 4.0%」「連結ROE 6.0%」への影響も避け難い状況。
- 当面の対策として、オペレーションにおける効率化や各種のコスト削減に努めており、役員報酬のカット等さらに踏み込んだ施策も検討中。

今後の取り組みについて

新型コロナウイルス問題を乗り越え、収益体質の正常化、そして改めて成長軌道を目指す段階を視野に入れると、本日説明した各種の取り組みに加えて、今後も引き続き下記のテーマについて重点的に取り組んでいく必要があると認識。

「東京ドームの高付加価値化」

デジタル化／観戦環境の整備／飲食物販店舗の新装等

「東京ドームを中心とする東京ドームシティへの価値波及」

東京ドームシティ ブランディング／東京ドームシティ アトラクションズのイベント連携／東京ドームホテルの客室環境改善 等

「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN の収益向上」

開業初年度の経験を活かした高付加価値の商品販売戦略・効果的な宣伝販促の実施等

「コーポレートガバナンスのさらなる強化」

取締役の多様性（※石田恵美氏を社外取締役候補者として3/24取締役会で選任）等

上記の取り組みを一段と推進する方向で当社グループにおける課題を整理し、それらを踏まえて来期（2022年1月期）を初年とする新しい中期経営計画を策定する予定。

この資料に関するご質問、その他ご意見等ございましたら下記にお問い合わせください。

お問い合わせ先 (株)東京ドーム 広報IR室

TEL (03)3817-6030 FAX (03)3817-6022

E-MAIL koho-ir@gms.tokyo-dome.co.jp

予測に関する注意事項

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(業績予想等を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご利用に際しましては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しましても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は(株)東京ドームに帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

参考資料

総括

・中期経営計画「新機軸」実績および最終年度の取り組み・課題について

新機軸における4つの経営目標

<収益性の向上>

5年後の連結営業利益
130億円

<財務体質の改善>

5年後の連結有利子負債残高
1,390億円

<資本運用の効率性>

5年後の
連結ROA (総資産経常利益率) 4%、
連結ROE (自己資本利益率) 6%

<安定配当と収益に連動した配当>

一株当たり12円の配当に加え、
連結当期純利益60億円を超える部分
のEPS (一株当たり利益) × 30%の
配当を業績に応じて実施

□*平成28年4月27日開催予定の当社第106回定時株主総会にて、株式併合に関する議案、並びに単元株式数の変更及び発行可能株式総数の変更に関する定款の一部変更議案が原案通り承認可決された後は、「一株当たり6円」が「一株当たり12円」に変更となります。

①連結営業利益

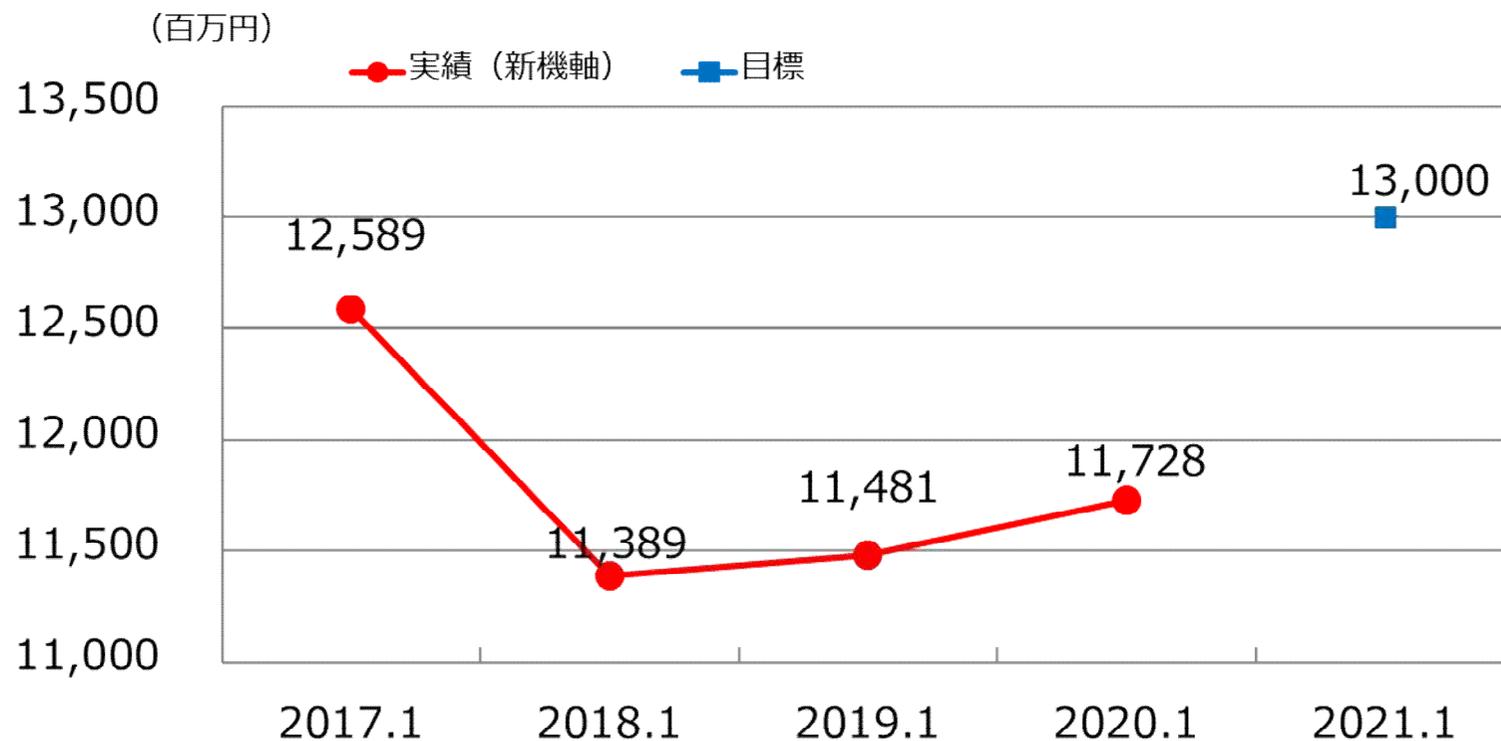
・実績

新機軸4年目にあたる2020年1月期実績は11,728百万円で、前年比247百万円の増益。

主な増益要因・・・MLB開幕戦やポストシーズンの開催、コンサート物販の好調 など

・目標額達成に向けての取り組み・課題

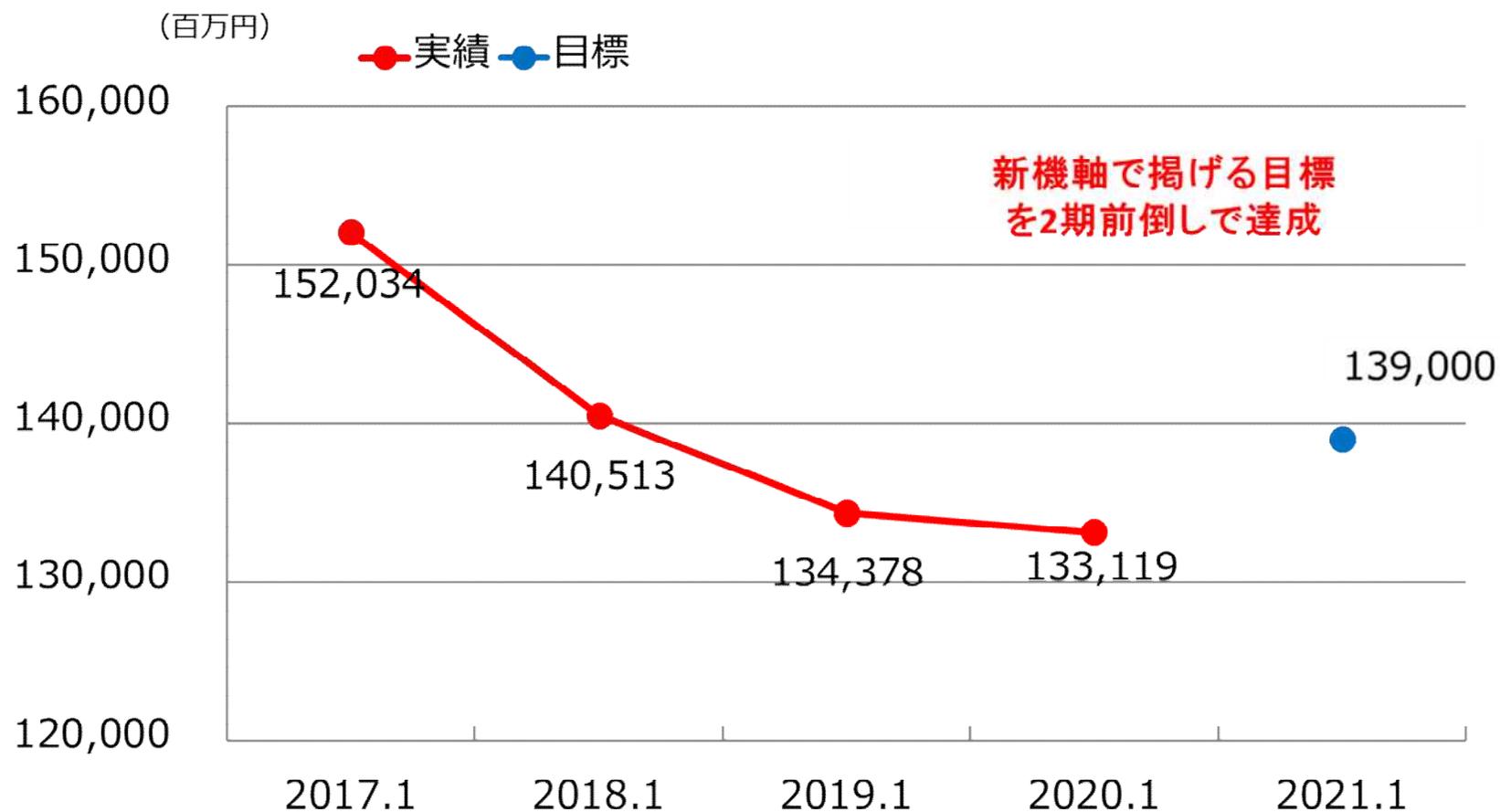
「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」における宿泊および日帰り利用客の増加による利益拡大



②連結有利子負債残高

・実績・取り組み

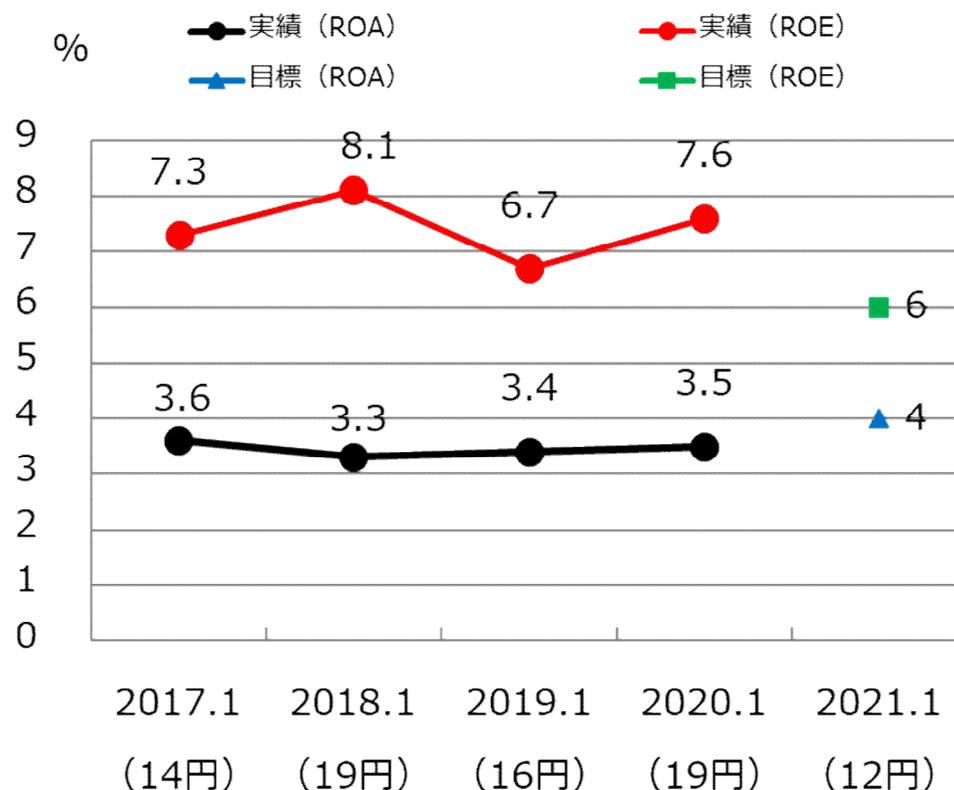
2019年1月期に2期前倒しで目標額を達成し、その後も順調に削減している。
2020年1月期も残高133,119百万円と順調に推移している。



③連結ROA(総資産経常利益率)、 連結ROE(自己資本利益率)

・実績

連結ROAにつきましては、目標値には満たないものの順調に推移しており、2020年1月期は3.5%。2020年1月期の連結ROEは7.6%と、4期連続で目標値を達成している。



④配当

2020年1月期の配当は19円。

連結当期純利益60億円を超えた主な要因・・・

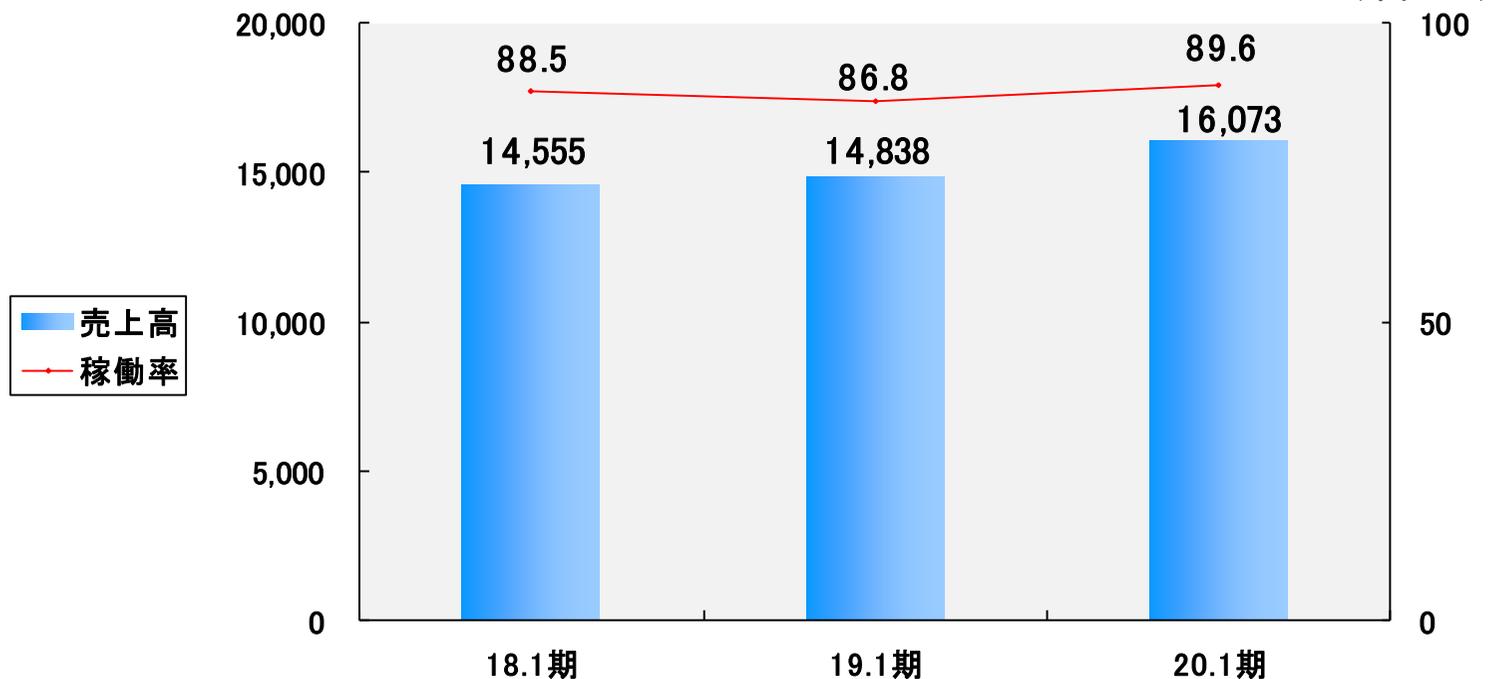
新機軸期間では、一株当たり12円の配当に加え、連結当期純利益60億円を超える部分のEPS(一株当たり利益)×30%の配当を業績に応じて実施。収益性の向上や財務基盤の強化を図りながら、安定的な配当を継続していくことを基本方針としている。

() 内は配当
※2021年1期は予想値

東京ドーム

(単位:百万円)

(単位:%)

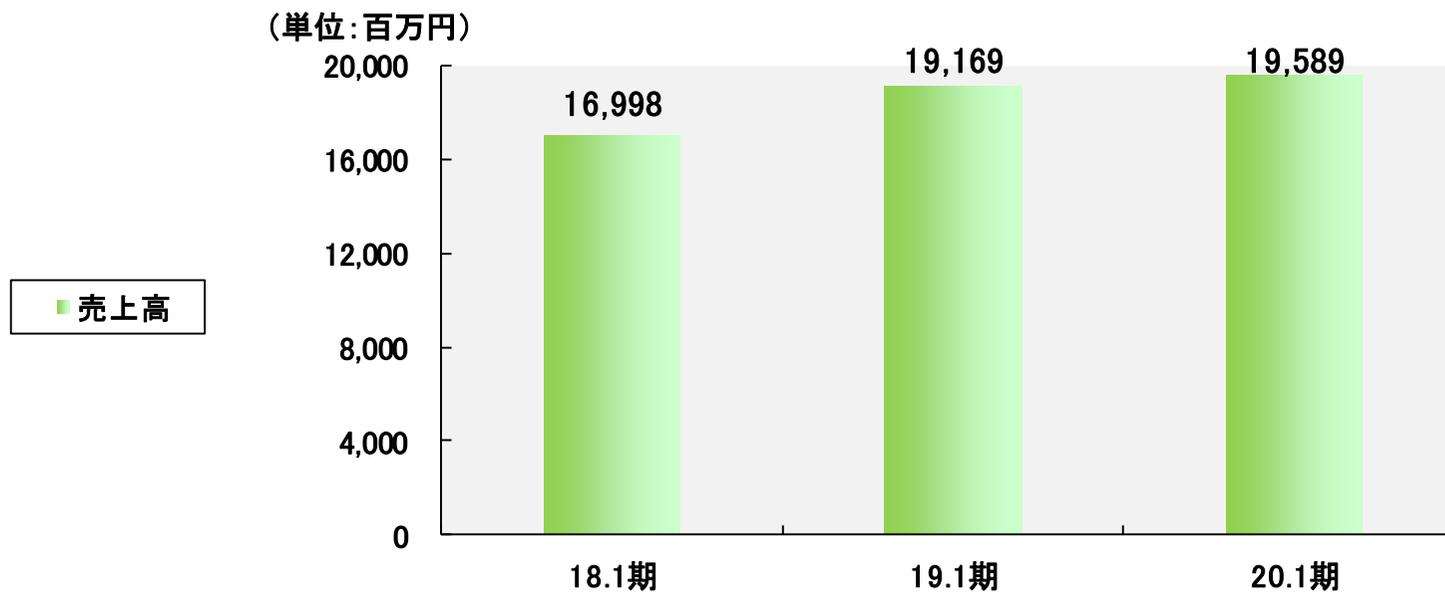


ジャンル別稼働日数	18.1期	19.1期	20.1期
プロ野球 [巨人ペナント戦]	92 [63]	91 [64]	105 [64]
その他野球	28	29	29
コンサートイベント ※	144 (73)	138 (76)	130 (70)
その他イベント ※	59 (45)	59 (44)	63 (45)
合計	323	317	327

20.1期予算	予算比
95 [63]	10 [1]
29	0
123 (73)	7 (△3)
59 (43)	4 (2)
306	21

※ 設営日、撤去日を含む。()内は、イベント開催日数

飲食 & 物販

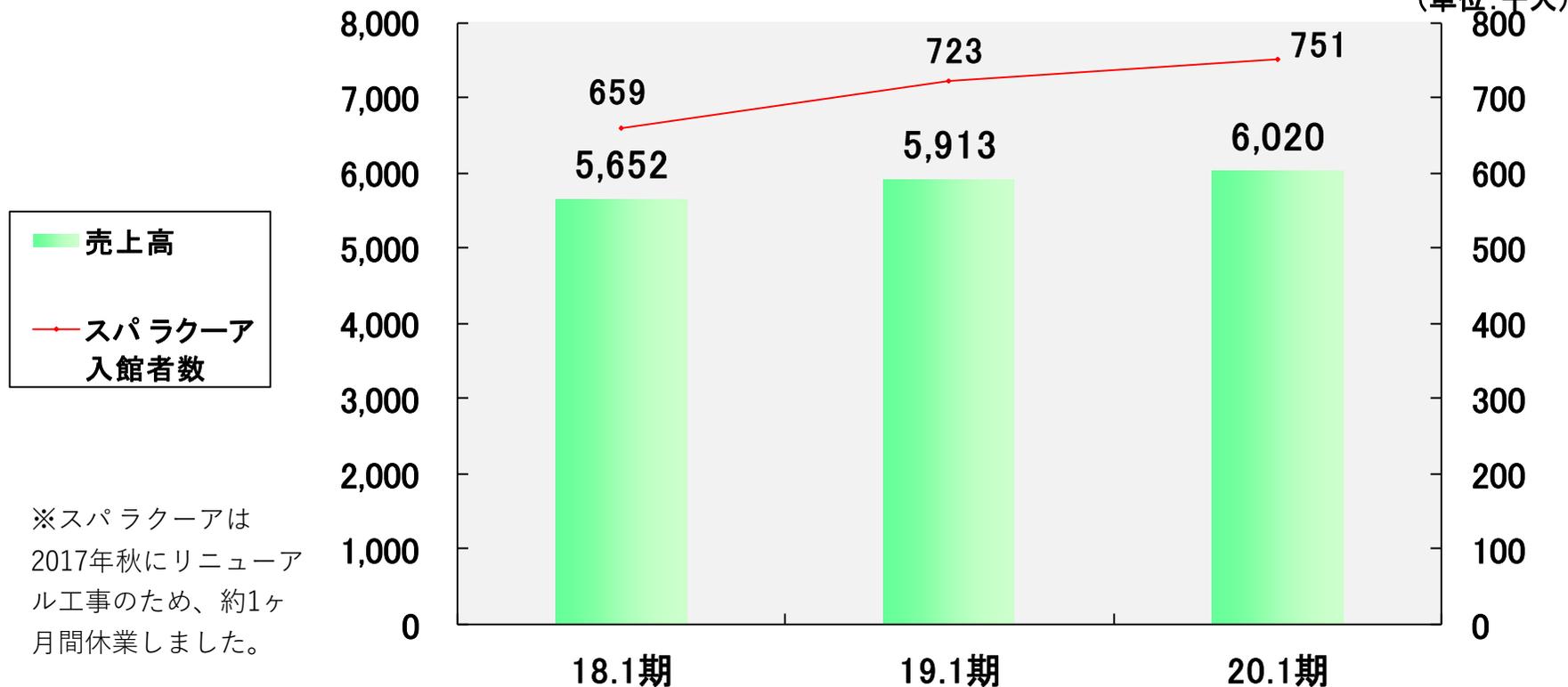


売上高内訳 (百万円)	18.1期	19.1期	20.1期
東京ドームエリア	15,831	17,988	18,459
黄色いビルエリア	376	319	298
アトラクションズエリア	490	514	496
後樂園ホールビルエリア	110	111	110
その他	189	235	225

LaQua(ラクーア)

(単位:百万円)

(単位:千人)



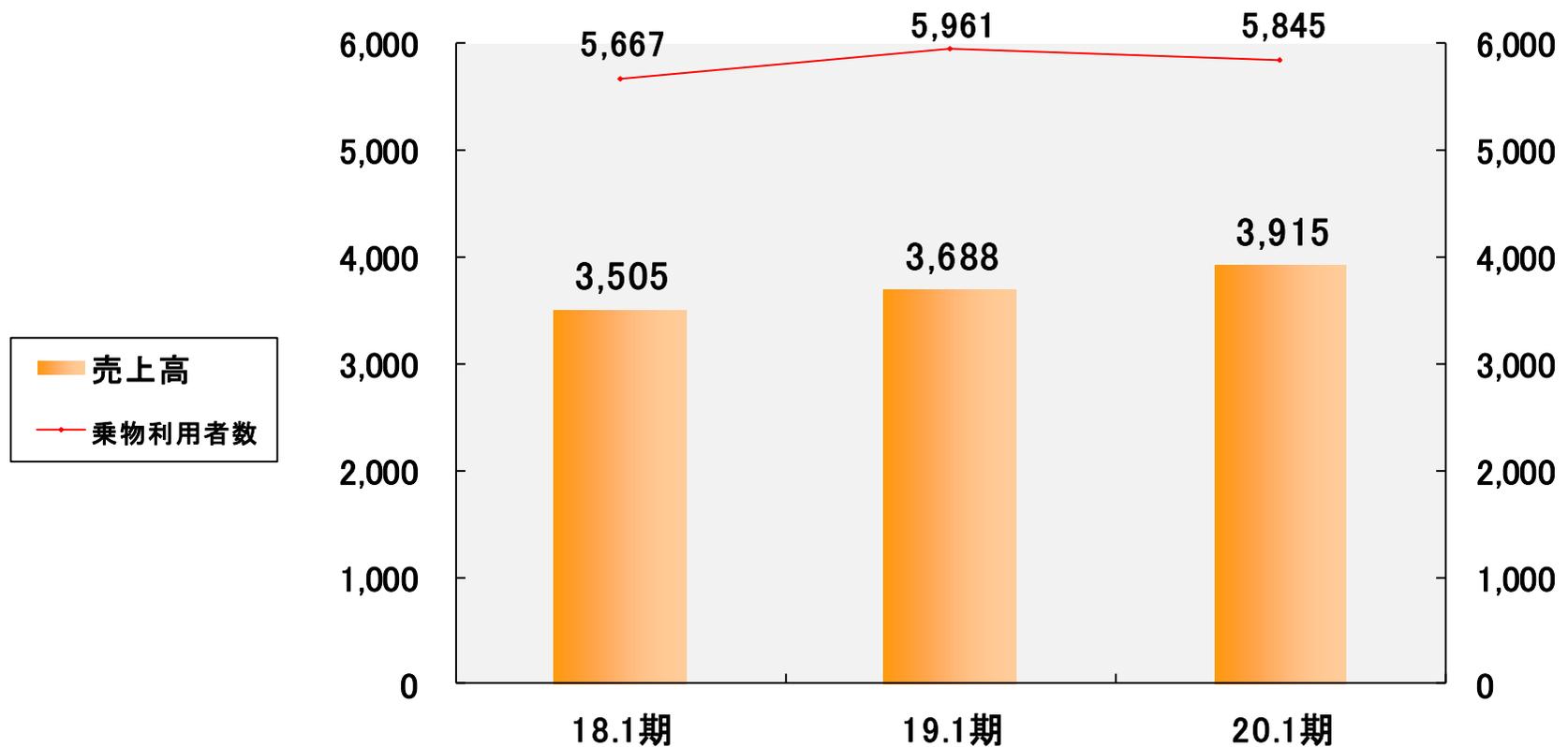
※スパラクーアは
2017年秋にリニューアル
工事のため、約1ヶ
月間休業しました。

参考	18.1期	19.1期	20.1期
来街者数(千人)	14,920	15,290	15,370
各テナント売上合計(百万円)	13,722	13,678	13,532

東京ドームシティ アトラクションズ、ASOBono!(アソボーノ)

(単位:百万円)

(単位:千人)

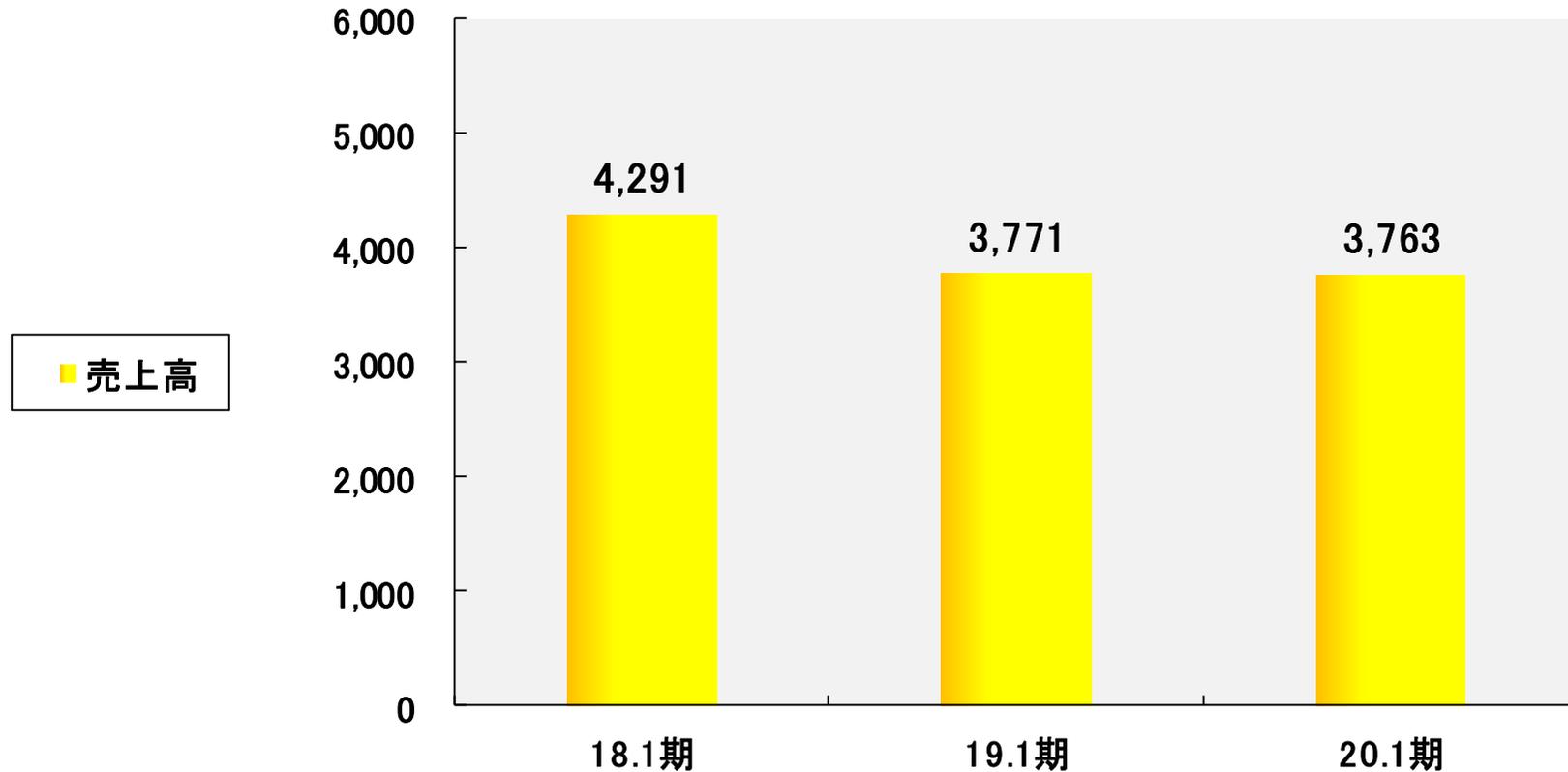


売上高内訳 (百万円)	18.1期	19.1期	20.1期
東京ドームシティ アトラクションズ	3,132	3,305	3,525
ASOBono!	372	383	389

黄色いビル

※売上高の主な内訳は、場外馬券場の賃貸収入となっております。

(単位:百万円)

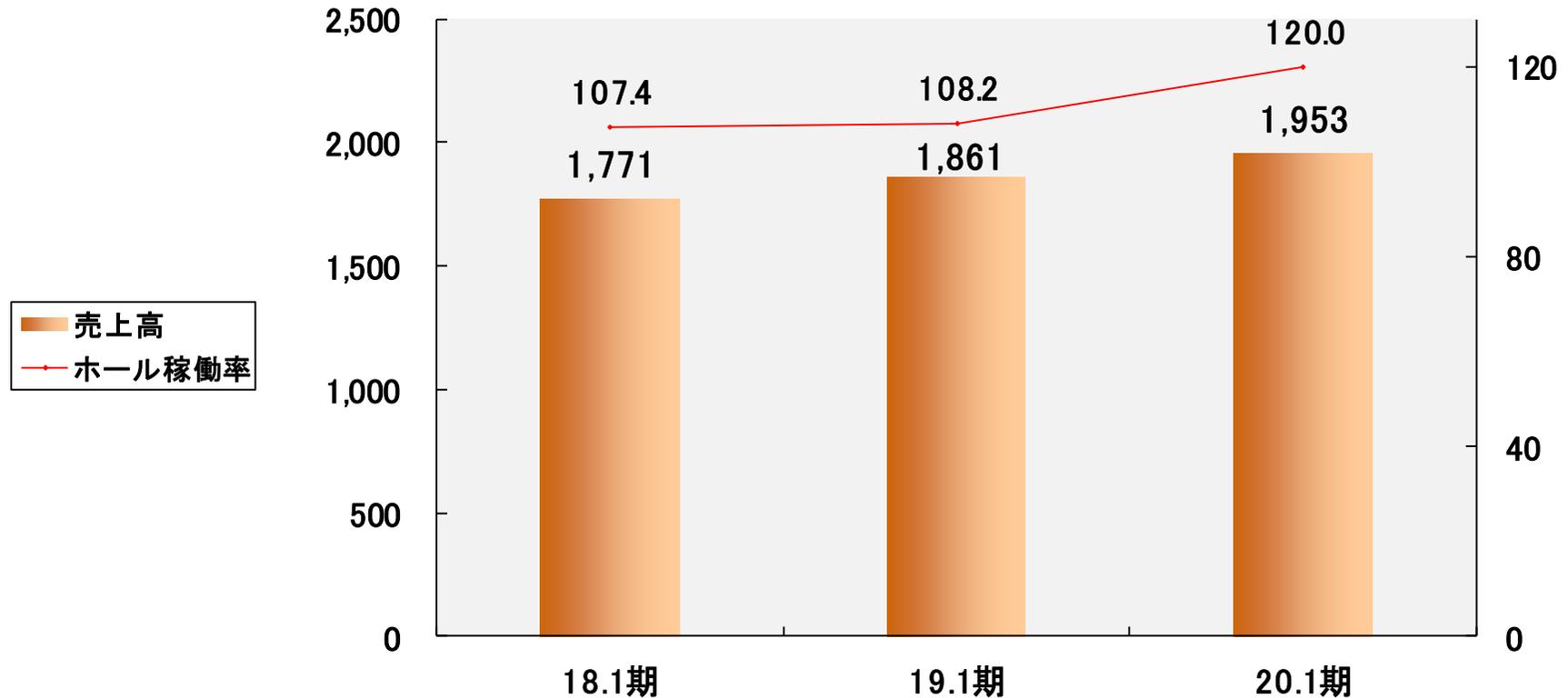


参考	18.1期	19.1期	20.1期
ウインズ開催日数	109	109	108
オフト開催日数	270	273	273

MEETS PORT (ミーツポート)

(単位:百万円)

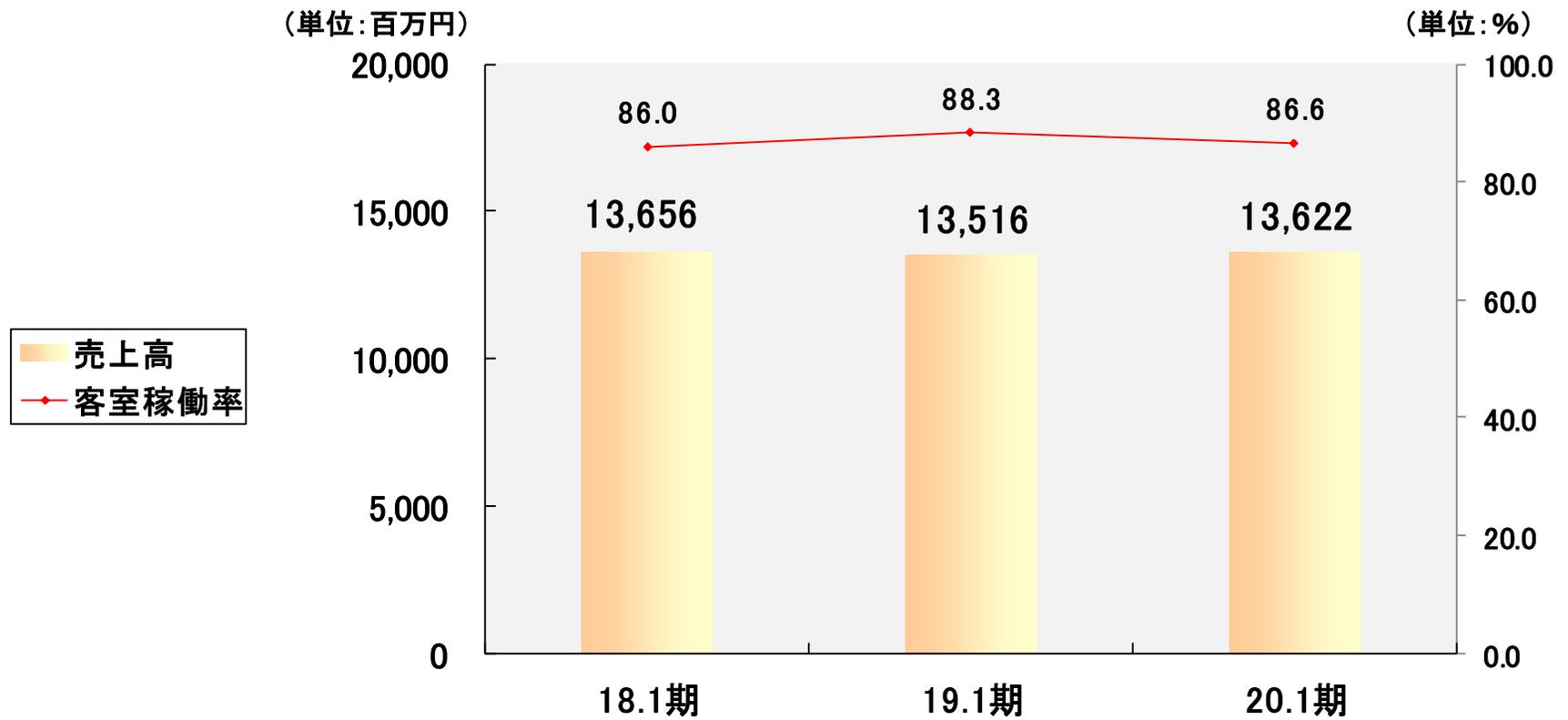
(単位:%)



参考	18.1期	19.1期	20.1期
ホール稼働回数 ※	392 (298)	395 (318)	438 (354)
ホール入場者数(千人)	550	604	623
各テナント売上合計(百万円)	5,774	6,295	6,567

※ 設営、撤去を含む。()内は、イベント開催回数

東京ドームホテル

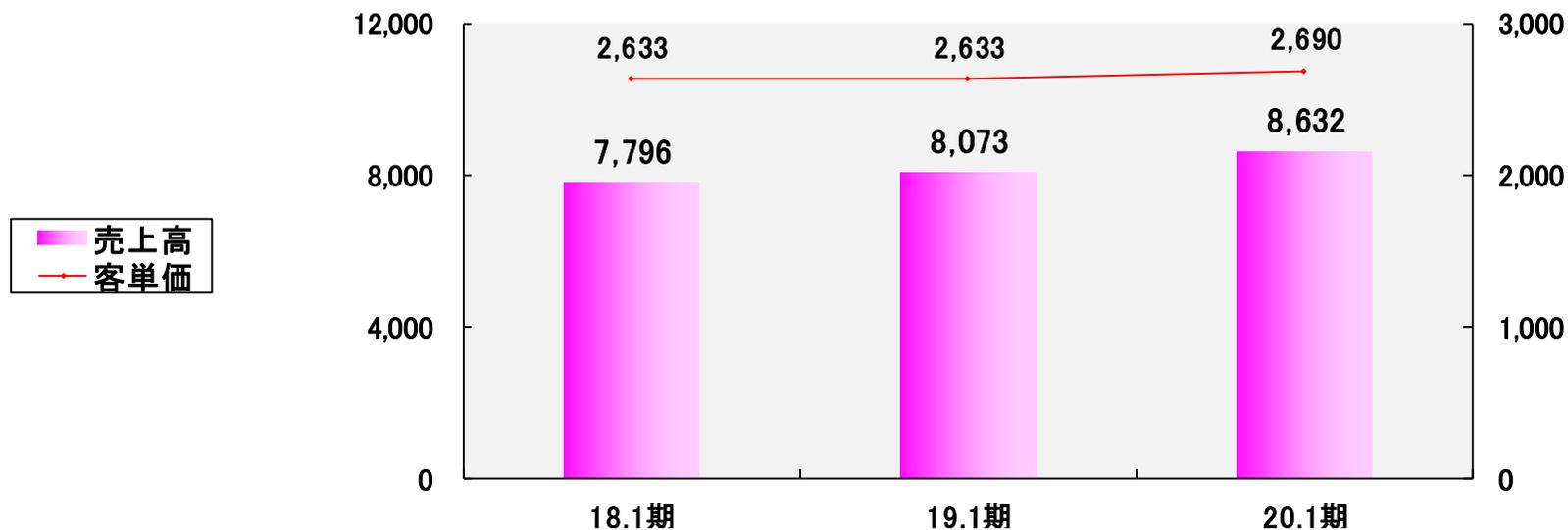


参考	18.1期	19.1期	20.1期
宿泊者数(千人)	501	528	515
宴会件数	2,188	2,120	2,096
婚礼件数	213	229	192

流通事業 shop in(ショップイン)等

(単位:百万円)

(単位:円)



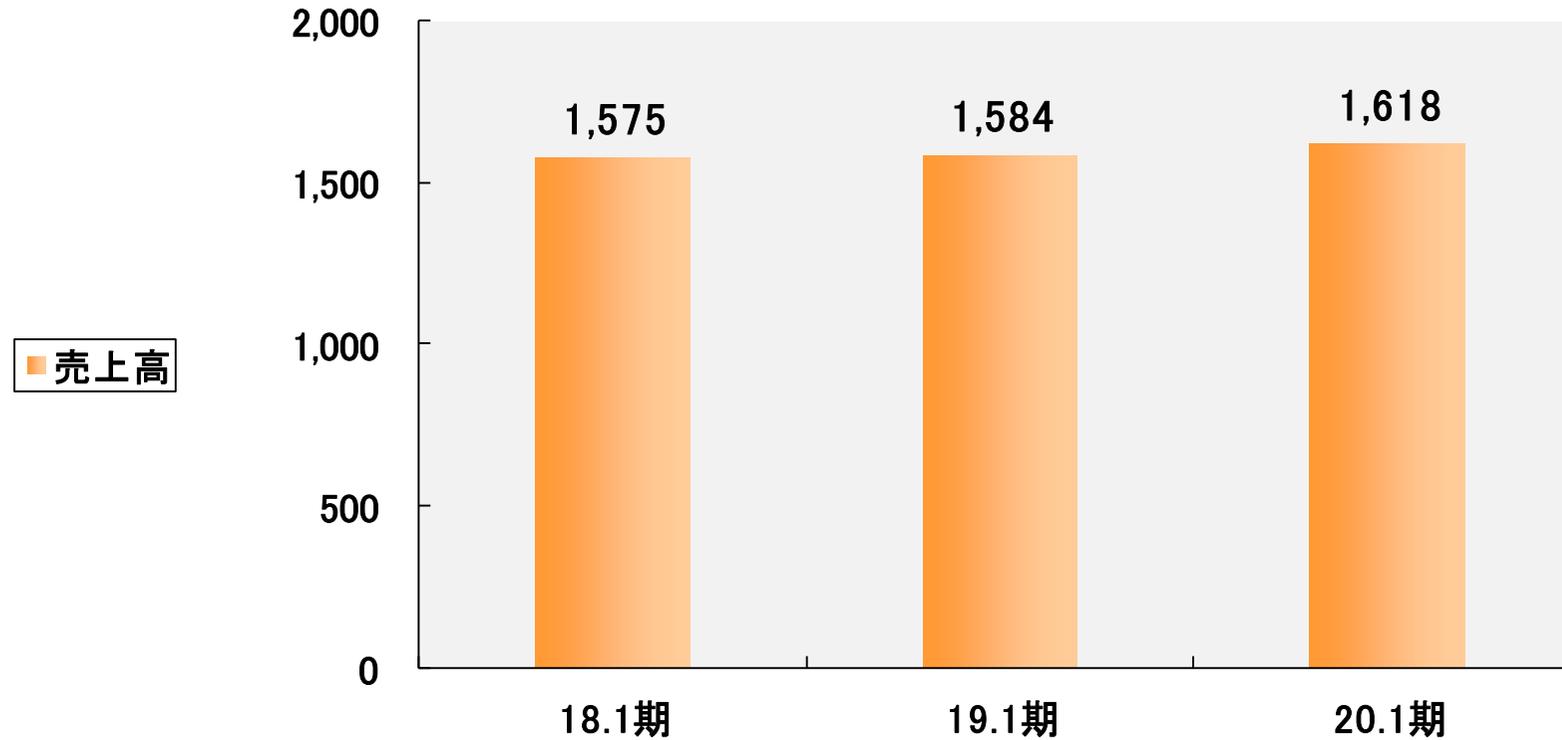
参考	18.1期	19.1期	20.1期
月坪売上(千円)	406	423	447
店舗数	41	42	43

■新規出店: 神戸ハーバーランドumie店(19年7月12日)、グランデュオ蒲田店(19年9月21日)

■退店: グランツリー武蔵小杉店(19年6月23日)

不動産事業

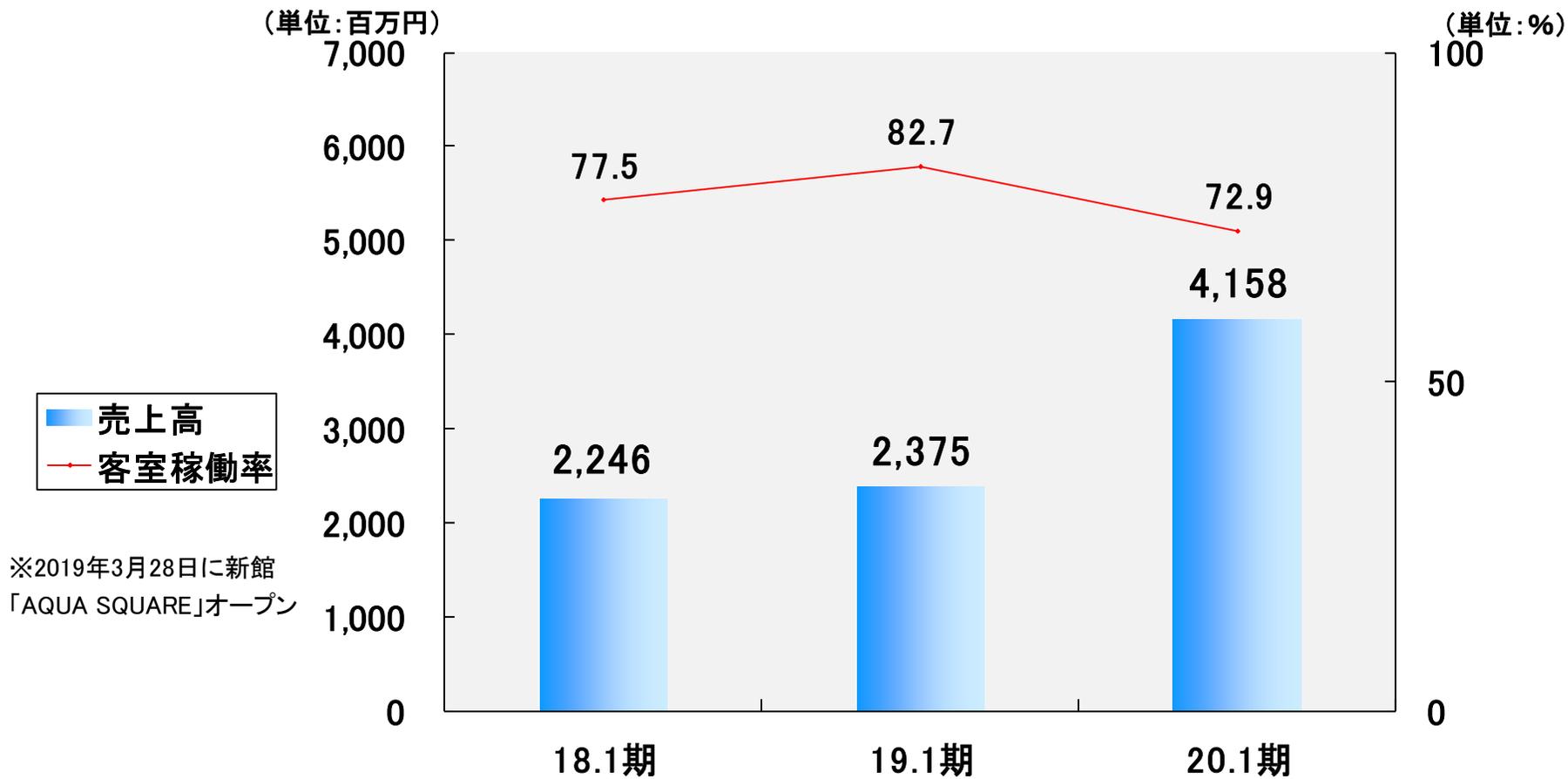
(単位:百万円)



主な所有物件

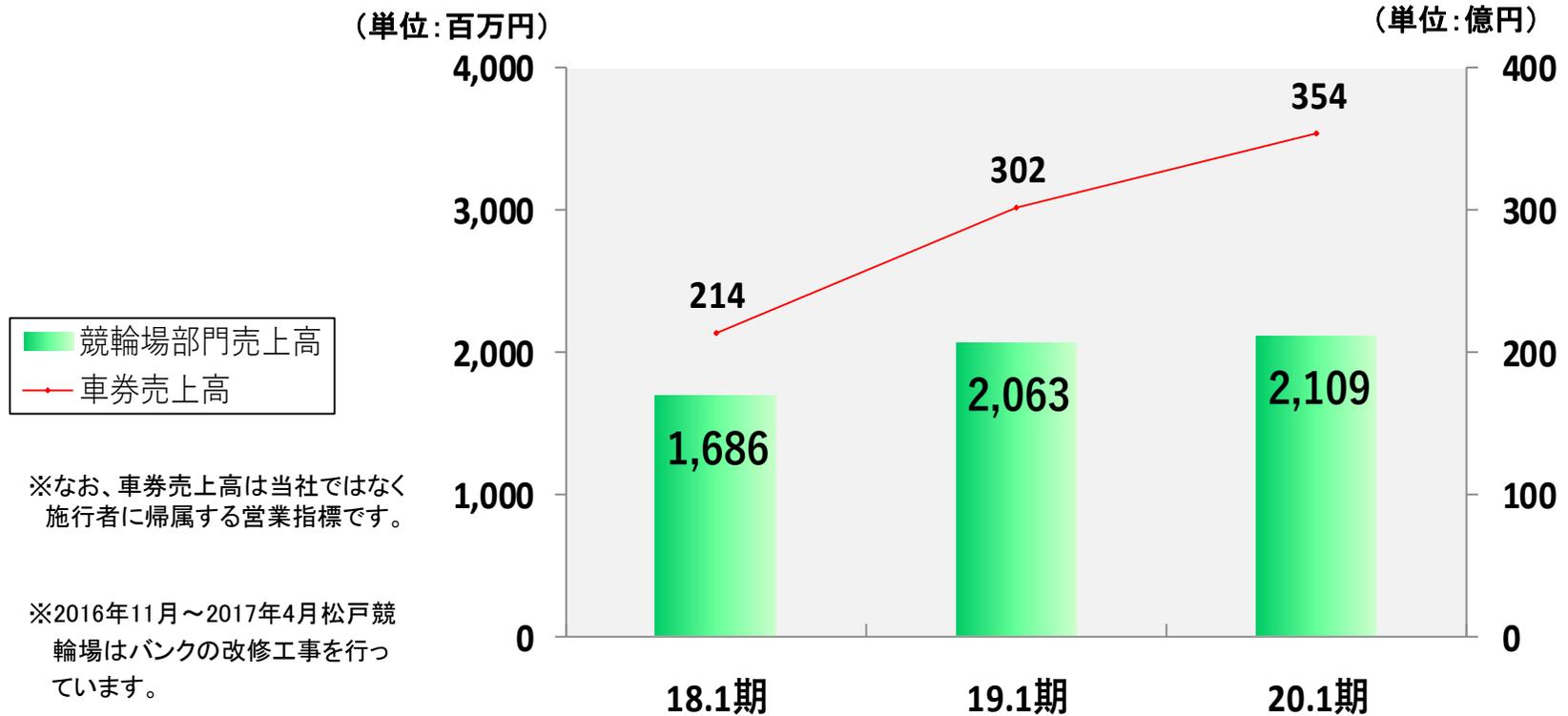
- ・アドホック新宿(新宿区)
- ・柿の木坂BMW(目黒区)
- ・プチモールニツ木(松戸市)
- ・市ヶ谷ビル(新宿区)
- ・代々木イースト(渋谷区)
- ・相模原ビル(相模原市)

熱海事業 熱海後樂園ホテル



参考	18.1期	19.1期	20.1期
宿泊者数(千人)	76	79	124

競輪事業 松戸競輪場



競輪場部門売上高内訳 (百万円)	18.1期	19.1期	20.1期
賃貸収入	448	582	627
運営受託収入	1,021	1,257	1,252
その他収入	217	223	229